

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月14日

上場会社名 コンバム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治 (TEL) 03(3759)1491
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,437	△22.5	242	△50.0	274	△46.7	180	△51.4
2022年12月期第3四半期	1,854	△1.4	483	17.4	515	19.3	372	27.4

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 275百万円(△25.3%) 2022年12月期第3四半期 368百万円(19.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	116.10	ー
2022年12月期第3四半期	239.08	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	6,030	5,708	93.9
2022年12月期	5,959	5,527	92.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 5,664百万円 2022年12月期 5,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	ー	25.00	ー	35.00	60.00
2023年12月期	ー	25.00	ー		
2023年12月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,852	△22.2	236	△61.6	270	△58.3	183	△60.0	117.62

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期3Q	1,657,000株	2022年12月期	1,657,000株
2023年12月期3Q	100,448株	2022年12月期	100,448株
2023年12月期3Q	1,556,552株	2022年12月期3Q	1,556,552株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたことにより経済活動が徐々に正常化に向かっている一方、世界経済においては、中国経済は不動産不況に代表される過剰投資などの影響で停滞が顕著であり、長期化が見込まれるウクライナ紛争やインフレ収束に向けた各国金融政策など景気回復への課題は多く、依然として先行きが不透明感の強まりが影を落としております。

このような環境下、当社グループは、電子部品半導体製造装置関連での需要は、国内、アジアを中心に低調に推移いたしました。食品機械業界、自動車関連業界、各種自動機関連においても、部材の高騰や半導体部品供給不足の影響が長引き、潜在的な需要はあるものの実受注が低迷しております。

また、開発面においては、ロボット需要を見据えた電動化の推進と新素材及び新形状の吸着パッドの開発を進めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、連結売上高は1,437,019千円（前年同期比77.5%）、連結経常利益は274,728千円（前年同期比53.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は180,722千円（前年同期比48.6%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

前年好調でありました半導体製造装置及びメンテナンスの需要減少が顕著となり、真空機器及び吸着パッドの受注が減少しました。生産設備の省人化、自動化の流れでのロボットハンド関連製品の需要は旺盛であり、新たな顧客の取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。

この結果、売上高は1,071,817千円（前年同期比82.3%）となりました。営業利益については234,263千円（前年同期比55.6%）となりました。

(韓国)

昨年前半までの半導体関連の特需が収束した事から、ソーラーパネル、カメラレンズ及び二次電池関連を中心に営業活動を展開し、現地生産によるセカンドブランド製品の拡充を行い、価格競争の中でユーザーニーズに対応してまいりました。この結果、売上高は268,829千円（前年同期比81.3%）となりました。営業利益については19,426千円（前年同期比62.0%）となりました。

(中国)

ゼロコロナ政策の解除以降、内需主導での経済は回復に至らず、また米国との半導体分野の輸出制限強化による生産回復が低調に推移しました。この結果、売上高は56,143千円（前年同期比62.7%）となりました。営業損失については10,867千円（前年同期は営業利益3,463千円）となりました。

(その他)

主にタイでは、タイ及び周辺諸国での自動化設備への拡販活動を引き続き推進し、タイ国内では自動車関連設備、食品関連設備への製品投入を積極的に行いました。この結果、売上高は40,228千円（前年同期比30.6%）となりました。営業損失については778千円（前年同期は営業利益27,742千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ74,455千円増加し、3,442,066千円となりました。これは主として、売掛金が23,550千円、製品が24,329千円減少したのに対し、現金及び預金が129,974千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,546千円減少し、2,588,689千円となりました。これは主として、有形固定資産が73,511千円、無形固定資産が19,946千円、繰延税金資産が12,006千円減少したのに対し、投資有価証券が101,960千円増加したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ70,908千円増加し、6,030,755千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ124,534千円減少し、179,966千円となりました。これは主として、未払法人税等が69,672千円、流動負債その他のうち未払消費税等が53,341千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ13,772千円増加し、142,020千円となりました。これは主として、長期繰延税金負債が18,704千円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ110,762千円減少し、321,986千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ181,671千円増加し、5,708,768千円となりました。これは主として利益剰余金が87,329千円、その他有価証券評価差額金が63,563千円、為替換算調整勘定が26,130千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は93.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年8月10日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,361,265	2,491,239
受取手形	※1 37,046	30,018
電子記録債権	※1 295,094	※1 274,890
売掛金	225,191	201,641
製品	206,918	182,588
仕掛品	119,414	119,847
原材料	95,007	100,268
その他	27,922	41,831
貸倒引当金	△249	△259
流動資産合計	3,367,611	3,442,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,784,852	1,784,983
減価償却累計額	△884,786	△925,815
建物及び構築物（純額）	900,065	859,168
機械装置及び運搬具	1,150,468	1,180,588
減価償却累計額	△822,370	△867,610
機械装置及び運搬具（純額）	328,098	312,978
土地	703,230	703,966
その他	776,917	789,423
減価償却累計額	△693,066	△723,803
その他（純額）	83,850	65,620
有形固定資産合計	2,015,244	1,941,732
無形固定資産	123,721	103,774
投資その他の資産		
投資有価証券	351,083	453,044
繰延税金資産	17,697	5,690
その他	84,488	84,447
投資その他の資産合計	453,269	543,182
固定資産合計	2,592,235	2,588,689
資産合計	5,959,846	6,030,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,337	32,735
未払法人税等	91,963	22,290
賞与引当金	22,900	36,906
役員賞与引当金	8,937	6,174
その他	147,363	81,860
流動負債合計	304,500	179,966
固定負債		
退職給付に係る負債	87,210	83,270
繰延税金負債	27,921	46,625
その他	13,116	12,123
固定負債合計	128,247	142,020
負債合計	432,748	321,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,012,960	1,012,960
利益剰余金	3,686,423	3,773,752
自己株式	△119,786	△119,786
株主資本合計	5,327,722	5,415,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,891	156,455
為替換算調整勘定	66,414	92,544
その他の包括利益累計額合計	159,306	248,999
非支配株主持分	40,069	44,717
純資産合計	5,527,097	5,708,768
負債純資産合計	5,959,846	6,030,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,854,369	1,437,019
売上原価	835,731	697,231
売上総利益	1,018,638	739,787
販売費及び一般管理費	534,790	497,743
営業利益	483,847	242,043
営業外収益		
受取利息	1,548	7,441
受取配当金	10,253	10,789
受取地代家賃	9,134	8,066
為替差益	13,234	11,865
その他	4,562	2,152
営業外収益合計	38,734	40,315
営業外費用		
売上割引	130	108
減価償却費	5,680	5,690
その他	1,536	1,831
営業外費用合計	7,347	7,630
経常利益	515,235	274,728
特別利益		
固定資産売却益	692	2,704
投資有価証券売却益	3,907	—
子会社清算益	—	5,782
特別利益合計	4,600	8,486
特別損失		
固定資産売却損	140	0
固定資産除却損	346	739
投資有価証券評価損	—	1,080
特別損失合計	486	1,820
税金等調整前四半期純利益	519,348	281,394
法人税、住民税及び事業税	131,502	99,057
法人税等調整額	10,955	2,846
法人税等合計	142,458	101,903
四半期純利益	376,889	179,491
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,746	△1,231
親会社株主に帰属する四半期純利益	372,142	180,722

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	376,889	179,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,334	63,563
為替換算調整勘定	40,470	32,009
その他の包括利益合計	△8,864	95,573
四半期包括利益	368,025	275,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,539	276,295
非支配株主に係る四半期包括利益	8,485	△1,231

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

CONVUM USA, INC. は、重要性が低下したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,302,644	330,757	89,545	1,722,946	131,422	1,854,369
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,302,644	330,757	89,545	1,722,946	131,422	1,854,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	143,573	48,614	—	192,188	—	192,188
計	1,446,217	379,371	89,545	1,915,135	131,422	2,046,557
セグメント利益	421,282	31,359	3,463	456,105	27,742	483,847

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	456,105
「その他」の区分の利益	27,742
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	483,847

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,071,817	268,829	56,143	1,396,790	40,228	1,437,019
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,071,817	268,829	56,143	1,396,790	40,228	1,437,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	100,616	17,717	—	118,334	—	118,334
計	1,172,434	286,546	56,143	1,515,125	40,228	1,555,353
セグメント利益	234,263	19,426	△10,867	242,822	△778	242,043

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にタイであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	242,822
「その他」の区分の利益	△778
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	242,043